

信州 木曾

# あげまつ

## SHINSHU KISO AGEMATSU TOWN



(一社)上松町観光協会



## I N F O R M A T I O N

### 木曾路周辺の観光

四季折々、素晴らしい自然が待ち受けている。国宝・重要文化財、歴史ある名所など信州には人気観光スポットが盛り沢山。上松までの旅行計画にプラスして木曽路周辺の魅力をたっぷり満喫してください。



## 上松町への交通案内

JR電車（JR）ご利用の場合  
新宿 → 堀川 → 上松 → 西新宿  
新大久保 → 名古屋 → 上松 → 西新宿

車ご利用の場合  
 東京 → 首都高速 約12km → 鹿児島 IC → 約12km  
 東京 → 約12km 舟久 IC → 伊都 IC → 約12km  
 大阪 → 約12km 名古屋 → 約12km 中津川 IC → 約12km

新宿→高尾山口→上松→表沢

お問い合わせ

(一社)上松町観光協会 〒399-5601 長野県木曽郡上松町大字上松159-3

TEL. 0264 (52) 1133  
FAX 0264 (52) 4180

上松駅前観光案内所 TEL.0264(52)4820  
上松町ホームページ:<http://www.avis.ne.jp/~hindok>

木曾觀光連盟事務局 T399-61

銀座NAGANO 銀座銀座ナガノ 〒104-0061 東京都中央区銀座5-8-5 NOCOMO 12階

TEL. 0264 (23) 1122

長野県NAGANO観光情報センター 〒110-0001東京都中央区銀座5-6-5 NOCOE #2  
長野県名古屋観光情報センター 電話052-220-0008 名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル4階

長野県名古屋歯元情報センター 〒480-0008 名古屋市中区東4-1-1 中日ビル  
長野県土坂歯科情報センター 〒520-0031 大阪市北区梅田1-2-1 203 大阪

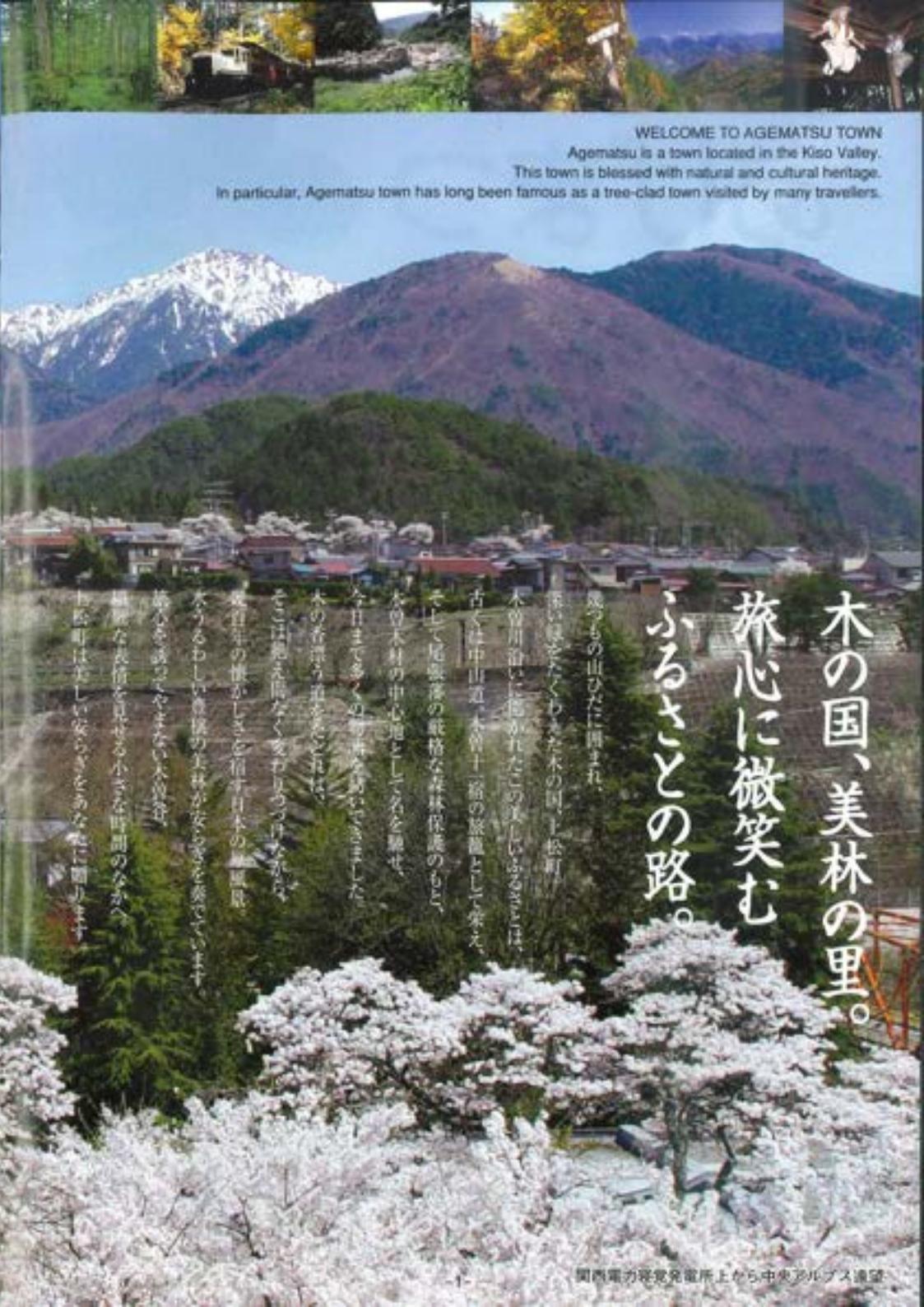
長野県入試就充情報センター TEL.06(6341)8205



上松町キャラクター「太郎ちゃん」と「美林ちゃん」

## Contents

標高はあげまつ	1
赤沢自然休養林	3
木曾ひのきの森	8
寝覚の床殿業	9
中山道・上松宿	13
木曾駒ヶ岳登山	17
木曾吉道	21
祭り郷土の祭前	23
あげまつ団のほ	25
上松伝承の物語	26
宿と手作り弁当	29



# 森林浴発祥の地 赤沢美林

日本三大美林のひとつに数えられる赤沢自然休養林、樹齢三〇〇年、雄大な木曽檣の世界。

清冽な大地を歩き、  
生命の息吹に触れる感動。



In the Akasawa Natural Recreational Forest,  
native Japanese Cypress estimated  
to be 300 years old are growing.

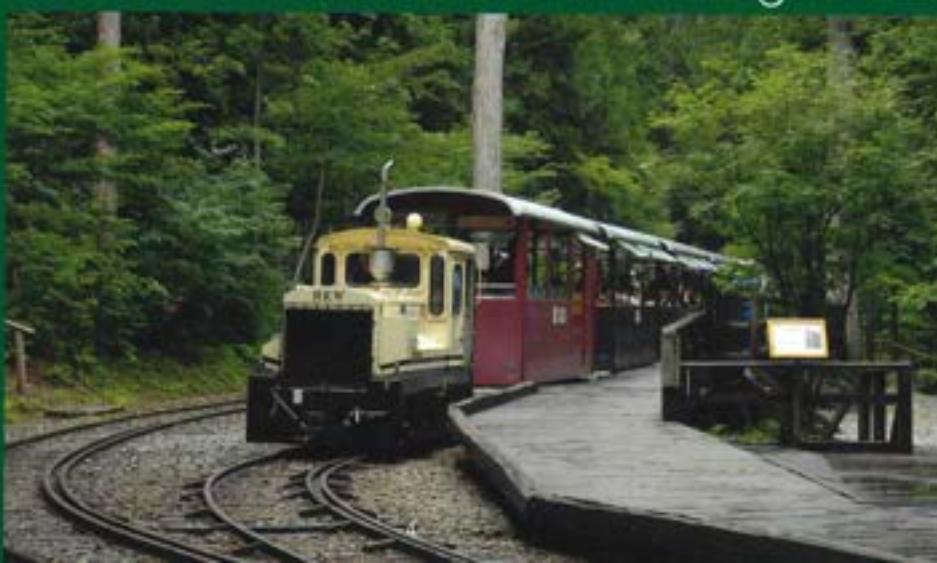
This forest is the birthplace of forest bath in Japan.  
This forest is also ranked among the three most beautiful forests in Japan.

若緑がまばゆい春、林間の涼風に安らぐ夏、そして紅葉に彩られる秋。威風堂々の檜の大樹が、神様の生命力を山に響かせています。尾張藩の保護のもと、三百余年にわたって大切に守られてきた赤沢自然休養林は、林内に8つの遊歩道コースが伸びる深閑の森。小径をたどれば、溪流にはイワナやアマゴの姿、清々しい木曾檣、鳥のさえずりや甘醇な草花に出会うことができ、心を休ませることができます。

A tiny railway runs through the forest.  
The locomotive is the one having  
once been playing an active part  
in the Kiso Valley.  
You can have experience of riding in a train.



赤沢自然休養林は、木曽の山と木と人、歴史と文化に触れる事のできる森かつて木曽谷で活躍していた森林鉄道が、当時の車両をそのままに檜の森を走っています。緑の風を断びて走る開放感は、たまらない爽やかさ。子供広場や、森の不思議や歴史に触れる資料館などの施設も備えられ体験と学習、レジャーを一度に楽しむことができます。



## 森林鉄道

かつて木曽谷の山林で活躍した鉄道。  
車窓を駆けてゆく森と溪流の情景、清々しい風。



# 赤沢自然休養林

In the forest, there are eight trails.  
There is also a safe  
and comfortable promenade.  
Let's learn the beauties of nature  
by experience.



赤沢自然休養林は、  
樹齢三百年を超える樹の天然林。  
世界的にも貴重な天然植林は、  
青森県・秋田県とともに、  
日本三大美林のひとつに数えられ、  
森林浴発祥の地としても知られています。  
林内には8つの遊歩道や森林資源館など、  
気軽に散策観察が楽しめる施設が整えられており、  
二十世紀に残した「日本の自然百選」、  
「森林浴の森日本百選」、「かおり風景〇〇選」などに選定され、  
「森林セラピー基地」にも認定されました。



歩道 [D-2] Walking trail  
島の歌、渓流の響き、大樹や草花との出会い。  
散策では観察とリフレッシュが気軽に楽しめます。



森林資料館 [D-2] Forest Museum  
木曾谷の林業の歴史、木曾五木や野鳥など、赤沢の自然を、貴重な資料・文献・写真などで紹介。

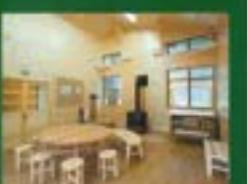
森林鉄道記念館 [D-2] Forest Railway Museum

木曾谷で六十余年にわたって活躍した森林鉄道。当時の車両や器具、道具、資料を保存・展示。

## 森林セラピー基地 赤沢自然休養林

「森林セラピー」とは、「森林の地形や自然を利用した医療・リハビリテーション、カウンセリング」また、「森林浴、森林レクリエーションを通じた健康回復・維持・増進活動」のことを意味します。

森林セラピーの研究では、森林浴を行うことにより森林の樹木が発散するフィットンチッドによって免疫力をつかさどるNK細胞が活性化し、抗がんタンパク質の濃度が上昇し継続するなどの効果が明らかになってきています。現代のストレス社会において、森林浴や木材がもたらす生理的・心理的リラックス効果や、免疫力向上への期待が高まっています。



## セラピー体験館 [D-2]

簡単な健康相談や森林セラピー効果測定を受けられる「森のお医者さん」を開設。(5月から10月末までの毎週木曜日／保健師、看護師は水曜～金曜日)

# 伊勢神宮御用材 御神木

**御枝始祭**  
**Misomahajime Ceremony**  
古くから伊勢神宮の御用材として管理された赤沢美林。20年に一度の遷宮行事・御枝始祭にあわせ、選びぬかれた御神木を斧(ヨキ)を使い三ツ絞り(みつひもぎり)の技法で伐採される。

Native cypresses growing in the Akasawa National Recreational Forest will be used as building materials for the Grand Shrines of Ise. They are cut down once in twenty year in accordance with a time-honored custom.



昭和60年伐採跡地



森林鉄道 [D-2] Forest Railway  
ディーゼル機関車に引かれた客車が、赤沢美林内を運行しています。

ボールド温号 [D-2] The Baldwin locomotive.大正5年から昭和35年まで、42万キロを走り抜いた蒸気機関車。古き良き時代の実車が展示されています。1号機は製造から1世紀を経ており、近代化産業遺産・林業遺産にも指定されました。

## 森林を駆ける 森林鉄道

## NPO「木曽ひのきの森」

NPO法人「木曽ひのきの森」は赤沢自然休養林をベースに、森林資源の大切さ、素晴らしいさを守り伝える活動を行なっています。

赤沢自然休養林で、森林散策のご案内を行います。

木を育え樹木を生み出す森林資源、とても大切な財産です。この自然の大切さ、木々や花々の美しいなどを、林業と共に生きてきた木曾の歴史を交えながら案内します。



- ①オオヤマレンゲ
- ②キバナノヤマオダマキ
- ③ショウジョウバカマ
- ④ヤマボウシ
- ⑤バイカオウレン



### 木曽五木

森林浴をお楽しみながら  
木曽の名前や特徴を  
覚えましょう。



コキヤマキ [コウタマキ科]  
葉は細長く、多角形ののが  
多いのが特徴。木に強くやや風呂桶の材  
料に使用されている。



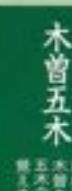
アスナロ (ヒノキ科)  
葉名クロベ。葉クロコ  
状でヒノキよりは大きめ。  
「ネズコ下駄」はこの木  
の木質材料となっている。



ネズコ (ヒノキ科)  
別名クロベ。葉クロコ  
状でヒノキよりは大きめ。  
「ネズコ下駄」はこの木  
の木質材料となっている。



サワラ (ヒノキ科)  
葉は小さくウロコ状で、葉の  
先端がとがっています。樹  
皮に変色し、緑や黒褐色  
をしている。



ヒノキ (ヒノキ科)  
葉は小さくウロコ状で、葉の  
先端がとがっています。樹  
皮に変色し、緑や黒褐色  
をしている。

森林環境の  
保全を行なっています。

学習、調査研究を  
進めています。

TEL / 0264 (52) 1133

The "Kiso Japanese Cypress Forest" is a certified NPO corporation. This corporation serves to preserve and leave precious forest resources with the Akasawa National Recreational Forest as a basis.



アスナロ (ヒノキ科)  
葉は細長く、多角形ののが  
多いのが特徴。木に強くやや風呂桶の材  
料に適している。



ネズコ (ヒノキ科)  
別名クロベ。葉クロコ  
状でヒノキよりは大きめ。  
「ネズコ下駄」はこの木  
の木質材料となっている。



サワラ (ヒノキ科)  
葉は小さくウロコ状で、葉の  
先端がとがっています。樹  
皮に変色し、緑や黒褐色  
をしている。



ヒノキ (ヒノキ科)  
葉は小さくウロコ状で、葉の  
先端がとがっています。樹  
皮に変色し、緑や黒褐色  
をしている。

深い谷に隠れた  
息をのむ景勝。

# 寝覚の床

白々とした大岩を眺めたり、またの名様に寝覚めのあそだとも大昔の古事記で、  
「木の川」を流れ落ちる岩の水、音を多く放つて、おしまの音を響かせ、  
風笛を吹くことと並んで、木曾川の風笛は、  
奇跡ともいふべき人の手跡と、成り立つたのである。

風笛のこの名は、誰が名づけたのか、誰が名づけたのか、  
風笛のこの名で呼ぶした者も未だのうして、由来あるもの。  
追ひながら、風笛を吹く人の名前は、  
上ねじの名に付けて、さすがに、音の響きが、大きな特徴であるとした。

Nezamenotoko  
Nezamenotoko is a scenic spot characterized  
by rocks of fantastic shape as a  
creature of rapids in Kiso River.  
It has long been solacing the travellers mind.

# 歴史・伝説に、ふれる 憩いの渓谷 寝覚の床

木曾川の四季に佇み、自然に癒される時。

アートや歴史の余韻も心に流れで。

昔からどれほど多くの旅人がこの風景に足を止め、しばし岩と水の不思議な美に見とれたいことでしょう。

今でもこの景勝の地はアートな安らぎと、歴史・伝説にふれる憩いの渓谷。

深い時季節のなかを悠々と流れています。

## 寝覚伝説

深い時季節のなかを悠々と流れしていく。



雪の寝覚の床【C-4】 Nezamenotoko snow scenery

厳しい冬の雪化粧も寝覚の床の魅力です。周囲の木々が帽帽子のような純白の雪を纏い、大きな岩の間を縫うように躍動の冬空を映す木曾川の流れは、まるで一幅の水墨画を見ているような美しさです。

※冬期の寝覚の床は氷雪で滑りやすく危険ですので十分お気をつけください。

Nezamenotoko is provided with a park.

In this park, objects with space-time themes are on display.



龍川寺(弁財天)【C-4】 Rinsenji Temple

名勝・寝覚の床を一望する古刹。木曾七福神の一つ弁財天を祀り、街頭沿いの7つの古寺を結ぶ参道にもなっています。境内には芭蕉・子規・山頭火の句碑、浦島太郎伝説の資料館があります。



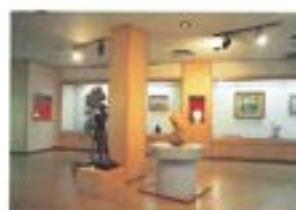
龍川寺宝物館【C-4】

Rinsenji Treasure Museum  
浦島太郎が愛用したと伝えられる釣竿や日用品のはか、古民具・古道具などを展示しています。



松尾芭蕉・正岡子規碑【C-4】

Monument to Basho Matsuo & Shiki Masaoka  
龍川寺境内には「寝かねに疑寝せうもの床の山／芭蕉」をはじめ正岡子規、尾張の俳人横井也有の句碑があります。



木曾路美術館【D-4】

Kisoji Art Museum  
庄重・英豪の合作による浮世絵「木曾街道六十九次」(特別期間のみ公開)、古陶磁、青銅彫刻や近代日本の彫刻、絵画の優品を収蔵し順次公開しています。  
(展示詳細は要問合せ:  
TEL0264-52-2554)



寝覚の床美術公園【D-4】

Nezamenotoko Sculpture Park  
寝覚の床に隣接する美術公園。浦島太郎の伝説にちなんで「時空」をテーマにした屋外彫刻、地球の自転軸のゆらぎまで計算した巨大な日時計のモニュメントなどが展示されています。

Nezamenotoko is a place noted in connection with a tale of old Japan "Taro Urashima".



木曾八景 ●寝覚の夜雨



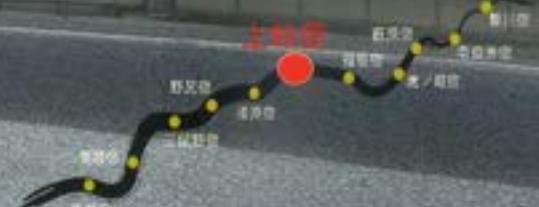
寝覚の床【C-4】 Nezamenotoko

浦島太郎の小さな祠が祀られる寝覚の床の大岩群の上へは岩づたいに登ることができます。木曾八景の幻想的な風景が周辺に眺められます。



懐かしい風景が、あちらこちらに隠れている上松町周辺。  
過ぎた日々との出会いを求めて、ふらり散策。

# 中山道上松宿



山里らしい町並みに安らぎを覚えます。

時の流れと暮らしがながで

涙、鄉愁を覚える路地に、

言いようもない温もりを感じます。

中山道宿場町の歴史から、

木の国、木曽五木の集散拠点として

脈わう今日まで、

幾つもの歲月を重ねる風景。

そぞろ歩くほどに、

くつろぎが訪れる上松町です。



<Agematsu in Nakasendo Road>

In Agematsu town, a scene of old Japan still subsists.  
You will feel a warm nostalgia,  
For the appearance of old-fashioned houses and alleys.

京へ六十五里、江戸から七十一里。

# 中山道上松宿を歩く

全長自二十九里、六十九宿を連ねる中山道。そのうちの十二宿を数える木曾街道にあって、上松宿は、古くから木曾橋をはじめとする木の故郷として多くの仕事人と旅人を集めた活気と賑わいの宿場でした。町を遡れば昔日を偲ばせる神社仏閣、由緒ある句碑や史跡名勝、江戸が今も蘇る見どころが多彩です。



*<Walking through Agematsu Post Town>*  
About 300 years ago, Agematsu was one of post towns in the highway named Nakasendo. In this town, shrines, Buddhist temples, stone monuments, etc. giving us some idea of its former glory still remain.



①木曾八景 ●橋の朝霧【A-1】

木曾の様【A-1】Kiso no Kakehashi Viaduct  
かつては、危ういものの代名詞として古くから歌枕にも詠まれ、中山道一の難所と言われた場所。木曾川の絶壁に数百メートルに渡って架けられた藤づるで編んだ橋樋でしたが、現在は田園道の下の石積みにわずかに街道の面影をとどめるに至っています。



①木曾川と様【A-4】



③玉林院【B-5】Gyokurin'in Temple

木曾家十六代目、木曾義元の二男にあたる玉林が創建したと伝えられる寺。被定樹齢二百年の黒松と、明和3年(1766)造営の山門が美しい調和を見せ、天神堂(天満宮)横のシダレザクラは毎年美しい花をつけます。



①松尾芭蕉・正岡子規の句碑【A-4】

木曾の様の対岸には芭蕉の「櫻や命をからむ 萩かづら」の句碑が残されており、このほかにも上松町の各所には芭蕉や子規の句碑が点在しています。



木曾八景 ●駒の夕照【B-8】



木曾八景 ●小野の滝【D-5】



木曾八景 ●寝覚の夜雨【C-4】



丸側

中山道

至中津川



上松宿(立場茶屋跡)【C-5】  
Agematsu Post Town (Former Tateba Tea House Site)  
街道には大名や旗人が訪れた立場茶屋(たてばぢや)がありました。中山道から寝覚の床へ向かう入り口には、十返舎一九の『続徒然草』に紹介される旗揚、青葉茶屋があり、当時の面影を残す建物が現存しています。

From this town, you can look at Mt. Kisokomagatake,  
the highest peak of Central Alps.  
rising about 3,000 meters above the sea.  
Mountains around this town are rich in scenery changes  
from season to season.



## 風越山

木曾八景 ● 風越の青嵐

木曾駒ヶ岳の麓にある、  
「風越の青嵐」は、  
木曾八景のひとつに数えられている。  
かつては牧草を育むため、  
住民に駆しまれ、また里山。  
頂上は青々とした草に覆われ、  
さすの平原を風が波のように  
駆け上り、いく風景も、  
山好きにとっては樂の興です。



Mt.Kazakoshi is a place in close connection with  
the life of people in Agematsu-town.  
From the top of the hill, you can look over the whole town.  
The scene will be deeply impressed on your mind.



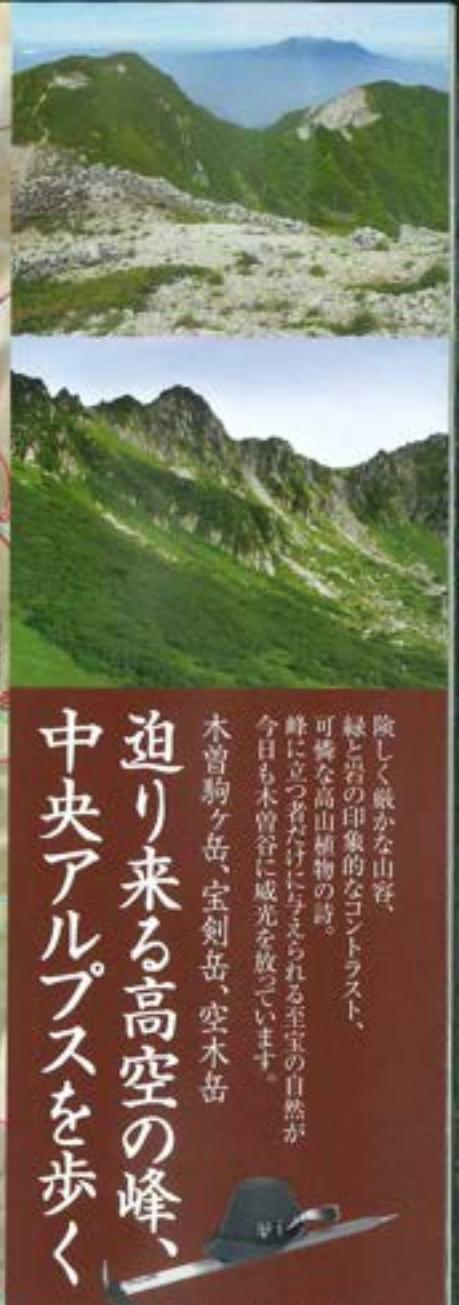
駒ヶ岳と中岳



駒ヶ岳夕焼



晚秋の中央アルプス



迫り来る高空の峰、  
中央アルプスを歩く

The Central Japan Alps

空木岳 [E-6] (標高2,864m)  
中央アルプスのほぼ中間に位置し、木曾駒ヶ岳に次ぐ高峰。堂々とした山容は、花崗岩の白い砂礫とハイマツのコントラストも美しく、深田久弥氏の日本百名山に数えられています。



クモマグサ

イワベンケイ

チングルマ

ツガザクラ

コマクサユキソウ

コマクサ

イワネゲイ

チシマオキョウ

のんびり歩く

木曾古道

中山道が開かれるその昔から、

流れに盛わされる木曽川沿道を避け、  
なだらかな麓をなぞるよう

里から里へとく道は山々の間めを楽しみ  
季節の声に耳を澄ます

今、その細道は御嶽山。

トレッキングが楽しみな道程です。



②東野阿弥陀堂 [D-5]  
Tono Amidado Temple

上松町東野地区の集落の中にはどにあるお堂で、木曾谷で最も古い建築物と言われています。堂の天井には、山村代官おかかえの絵師・池井芭翁が描いた花鳥の絵があり、その精緻な筆運び、鏡板内陣36枚、外正雀障72枚の枚数は壮観。木曾古道敷策の途中に見学するのもおすすめです。



①駒ヶ岳神社 [C-5]  
Komagatake-jinja Shrine

木曾駒ヶ岳は古くは信仰の山で、山頂には駒ヶ岳神社の奥院があります。上松町には里宮があり、奉納される太々神楽は有名です。



木曾古道(信濃路自然歩道) [D-5]  
Kiso Kodo (Ancient Kiso Road, aka.  
Shinanoji Nature Trail)

**aka. Shinanoji Nature Trail** 中山道が整備される以前から交通路として利用された古代のハイバス。木曾駒ヶ岳山麓を南北に延び、山間のえき宿を辿る道ながらには「木曾古道」の遺跡があります。

www.17k.com



#### ケルビンバット [D=5] Kelvinbat

木曾駒ヶ岳の東側に走る上松断層。この断層に沿った地形に、ケルンバットとケルンコルがあります。ケルンバットは断層の破碎帯に発生する小高い頭、ケルンコルは断層の鞍部で谷状の地形で、木曾吉田はケルンコルを利用してしています。上松町の東部は日本でも有数のケルンバット地帯です。（上松町史自然編より）



In Agematsu town, many events ranging from traditional functions to modern programs will be held throughout the year.



駒ヶ岳神社例祭[C-5]

Komagatakejinja Shrine Festival

木曾駒ヶ岳頂上に奥院がある駒ヶ岳神社の例祭。麓の里宮において行われ、国の選択無形民俗文化財に指定される「太々神楽(たいたいかぐら)」を奉納します。13座の舞台で構成され太々神楽は、400年以上前から伝わる奉納の舞で、地区の家々に一子相伝で伝えられており、門外不出とされています。舞台では、剣を手にした3人の舞手による厳かな「三刻の舞」や、白い天狗の面を付けた4人が高々と舞う「四神五仮舞」の姿が有名で、迫力ある瞬間を見ようと毎年多くの観客・カメラマンが訪れます。

<毎年5月3日開催>



Suwajinja Shrine Festival (Agematsu-sai)



Summer Festival in the Town of Cypress

國訪神社例祭(上松祭)[C-6]  
上松町の國訪神社と若宮八幡宮の例祭で、地勤舞伎と神楽・神樂・神樂のおねりが、中山道の途中を盛りで行かれます。八幡宮境内で行われる育達連中によつて「おまつり」といわれる地勤舞伎・獅子狂言が満喫られます。翌日からは、町内を廻りながら、八幡宮境内で泊り、翌日再び國訪神社へと戻る神輿は、夜には國訪神社と若宮八幡宮の間の御門通りや神楽の押し出しとなります。國訪神社本殿から出発大きなお祭りであります。上板では、音楽や太鼓の音が響き、町は祭りの色になります。(8月上旬)



## 晴れと 心の伝承。

神秘に息をのみ、  
熱気に目を奪われる感動。  
一瞬の光景は、永遠の記憶になつて  
語り継がれていきます。  
舞や踊り、ひとつの仕草に込められた歴史の奥義。  
一拳手一投足に秘められた古式の折り。  
天下泰平、豊年満作感謝の気持ち大事な節目を  
厳かに美しく飾るさまざまな祭事が、  
感動を呼び覚まします。



小川若宮神社例祭[C-4]

上松町の小川若宮神社の例祭。伝統的な獅子狂言が、春暖湯の3日間にわたりて奉納されます。狂言は地元の若連による熱演です。独特の獅子狂言「裏の裏」は、母と娘の別れの辛さを演じるもので、獅子頭をかぶつた女郎が、筆をくわえて口横に横み詩を書き付ける舞台は珍しいものです。小川若宮神社境内での上演は最終日午後です。(4月下旬)



Ogawa Wakamiya Shrine Festival

# 伝承の手技

清らかな第一印象、温かい手触り。

伝統の技、木の生命は、使い込むほどに愛おしく。

豊かな森、良質な木材は、山に生きる人々の知恵をくすぐり、卓越の技を引き出しました。

木工に代表される伝統工芸の逸品、匠の作は、お土産に、調度品にぜひ遊びたい上松町の宝ものです。



木工芸品  
Wooden Crafts

木曾産の良質な木材を素材に、天然の木目を生かした器、椀、盆、盆、茶筒などの工芸品は日常使いの道具として、また旅のお土産として人気を集めています。



家具 Furniture

木曾五木のなかでもとくに木肌が美しいヒノキは家具や道具などに使われ、その高貴で清潔感のある印象が愛されています。



檜の香り

Cypress Fragrance

檜独特の爽やかな香りのエキスを抽出。入浴剤や芳香剤などがあり人気を集めています。



リのき精香 株式会社 / 0264-52-1020

古里の味わい  
この味が堪らない、この食材でしか生まれない。  
丹精込めて作られる木曾の旨さは、  
知恵と工夫、伝承と精進のたまもの。

一度食べたら忘れない、不思議な魅力の世界です

里山は美味しさを季節毎に育みます。  
日々の暮らしは、かけがえのない旨さを生み出しました。  
祖母から母へ、母から子に。親方から弟子へ、親父から娘取りへ。  
大切に受け継がれた郷土の味は、今もしっかりと健在です。



朴葉巻  
Hoba Maki

香り豊かな朴の葉で、小豆の入った米粉のお餅を包んで蒸した木曾ならではの初夏の味。



五平餅 Gohei Mochi

ご飯を御幣の形のように串に留めつけ、タルミ・ゴマなどの入ったタレでいただく、炭火で香ばしく焼あげた木曾の名物。



手打ちそば Soba Noodles

日本を代表するそば凧、木曾谷。風味豊かな地粉と手打ちの技から生まれる絶妙な旨さに舌鼓。



そばまんじゅう Soba Manju

純そば粉と大和芋で練りあげた独特の風味とあっさりとした甘味。

## 木曾森林鉄道と鬼淵鉄橋

Kiso Forest Train & Onomichi Railway Bridge

鬼淵鉄橋は大正二年に、当時の中央線上松駅から木材を貨車輸送するために架けられました。全長九十三・八メートル、トラス構造で、八幡製鉄所の鋼材を使用し、大阪の横河橋梁製作所が手がけたものです。設計は三根奇竜夫、原料・技術とも含め、初の純国産鉄橋といわれます。鉄橋の西側で小川線・王瀧線の軌道が分岐し、特に王瀧線は昭和五十年五月の木曾森林鉄道廃線(国内最後の森林鉄道)まで活躍しました。最盛期の木曾森林鉄道は木材だけでなく、人々や物資の流通も担う木曾の大動脈でした。その後の鬼淵鉄橋は車道橋として活用され、水車にわたって地域の交通を支え続けました。(上松町史歴史編より)

## 大宮神社

Omiyajinja Shrine

天照大神・伊弉丹尊・底筒男命を祭神に祀る大宮神社では、毎年七月の中旬の土曜日・日曜日に例祭が開かれます。町内のおよそ三〇〇戸を氏子に持ち、若達によって各戸の惡魔払いが行われ、しき・捨・酒、

## 若宮神社と安倍晴明

Wakamiyajinja Shrine & Abe no Naga

安倍晴明(九二一〇〇五)は実在の陰陽師で、中国の陰陽道五行説による天体觀測の作成や、時の測定や籠竹などを青國を占っていました。父は安倍保名母は雲力をもつ動物として崇められる白狐。子晴明を受けた後に正体を知られた母は「悲しくば尋ねきてみよ和泉なる信太の森のうらみ鳴の草」の歌を詠み、これに因む「信太妻」の物語は有名で、毎年春、小川若宮神社で奉納の舞が演じられます。

晴明終焉の地がここである種たる証拠はありませんが、天文に間わる独特な生活の営み、正月の独特の松飾りなど暮らしの随所に見受けられます。

## 五社神社

Gosha-jinja Shrine

五社様と親しまれる五社神社は、天明年間(一七八一~一七八八)、時の材木奉行白々野源八が、木曾山川の安全と、ここに働く船や日雇にケガや事故が無い事を願て建立されたと伝えられます。五社とは、御岳大権現(地元木曾地方の守護神)・熱田大神宮(当時木曾を治めていた尾張藩主の神)・水天宮(後御・船頭の安全を祈る水の神)を指します。なお上松材木役所に祀られた五社神社でしたが、明治四年(一八七二)材木役所の廃止を前に、上松町の鎮守・諏訪神社の境内に移転されました。

# 新田墓地の六地蔵

Six stone guardian deities at Shinoda Cemetery

## かくれ滝のお姫様の伝説

Legend of Kukurune Falls

示威とされる陣屋と推察され、正面玄関の七尺（一・三メートル）の高さ手には「御陣屋の松」と呼ばれた松が植えられています。

六地蔵は上松で一番古い地蔵様で、延宝六年七月（一六七八）に建立されました。建立者の氏名が裏面に彫られています。

右側より

護送地蔵

森 八郎兵衛

弁尼地蔵

小松 庄兵衛

破墨地蔵

二尾 重兵衛

延命地蔵

千村 三郎兵衛

不休息地蔵

藤田 九郎右衛門

護童地蔵

原 庄左衛門

同七三良母

護送地蔵 森 八郎兵衛  
弁尼地蔵 小松 庄兵衛  
破墨地蔵 二尾 重兵衛  
延命地蔵 千村 三郎兵衛  
不休息地蔵 藤田 九郎右衛門  
護童地蔵 原 庄左衛門  
同七三良母

## 八幡宮

Hachimangu Shrine

本殿は江戸中期の代表的な社殿建築で、上松町では一番古い神社です。毎年九月上旬には、幕末の嘆、三河の神田徳七という人物から伝えられた「芸ざらい」と呼ばれる獅子狂言が若瀬によって上演されます。狂言の女方はすべて獅子が演じ、古本には十八の演目があります。

## 上松の御陣屋

Gōryō of Agematsu

材木役所は御陣屋と呼ばれ、檜の丸太を使つた芝士手を築き、入口に大砲を備える堅牢な陣地になつていました。山方一切の業務を取り上げた山村氏への尾張藩の賛成、あるいは木曾谷住民全般に対する

萩原村の人の前に、追手から逃げるお姫様が現れ、かくまつてくれるよう懇願しました。するとお姫様は小判だけを取り上げて願いは聞きませんでした。途方にくれたお姫様は山路を逃げ、名も無き滝のはとりに身を隠すも追手に発見され、ついには滝に身を投じたのでした。以来、この滝は「隠れ滝」と呼ばれ、滝上の祠は姫を祀ったものとされます。

## 御獄の四門

The Four Gates of Onioki.

豪傑や修業にはさほどまかな時期、順序、方法、行場などが定められていますが、御獄の四門もこれら修驗道に關係のある決まり事です。西門とは、吉野の金峯山などで知られているように、勢心（東）、修行（南）、菩提（西）、涅槃（北）を指します。御獄では御獄を中心として西門が定められ、北は鳥居崎、東は岩瀬村（現木曾町横島）の神戸、西は飛驒街道筋の長峰崎、南は三浦山中の押殿山を指しました。いずれも木曾谷に入つて初めて御獄山を目にすることのできる場所であり、修驗者にとっては修行の大切な場所として重视していたと考えられます。上松町内には、中山道より古く御獄山へ参拝に後わたたといふ道が伝えられています。

## 姫渕悲話伝説

Legend of the Himebuchi Tragedy

## 原畠用水

Harahata Canal

## 浦島伝説

Legend of Urajima

そして、その清らかな声が消えるか消えないうちに、自ら滝に身を投げ、若い生命を絶つたのでした。真紅の河原サツキが咲く、春の夕暮れ時のことでした。



本殿は江戸中期の代表的な社殿建築で、上松町では一番古い神社です。毎年九月上旬には、幕末の嘆、三河の神田徳七という人物から伝えられた「芸ざらい」と呼ばれる獅子狂言が若瀬によって上演されます。狂言の女方はすべて獅子が演じ、古本には十八の演目があります。

## 不思議な浮石

Mysterious Floating Rock

高倉以仁王の弟子・姫宮十五歳は、宇治の戦いで逃げ落ちた父が木曾谷に居る」とを聞きつけ、追手の難をかわしながら、京から一人逃げてきました。ある時は村人にかくまわれ、またある時は後難を恐れた村人に見放されながら必死に逃げるもついに小川の里で姫は見つけられてしまします。姫の持つ香袋の香が追手に嗅ぎ付けられてしまつたのでした。よいよ道も果て、深い洞を前に逃げるすべをなくした姫は、逃げ来る途中で見た京に似た田園風景を思い出し、懐かしい家族を想い、田種の真似をしながら田種歌を唱います。

知る者の無い未知の世界、驚いた太郎は飛行の術・長寿の薬法などが記された万葉書を読み、足にまかせて諸国の人間に渡ります。そしてたまたま気に入つて住み着いたのが寝覚の床。ここで太郎は忘れいた玉手箱を取り出し三百歳の翁に老いたのでした。その後翁は人々に薬草などを授けていましたが、天慶年間にどこかへ立ち去り、床岩には一体の弁財天像が残されています。その後翁は「おまかせ」の歌を説いてこれを銷みました。現在この右は翁が「首歌を説んせぬ」。以来この右は翁かず、村に不動な出来事も無くなりました。鬼面の上流には今もその石が残っているそうです。



民宿 わらび荘 [D-5]

TEL.0264-52-3848  
●定員/30  
●部屋数/15  
●営業期間/  
1月11日～12月27日



檜温泉旅館 [A-4]

TEL.0264-52-2276  
●定員/35  
●部屋数/9  
●営業期間/通年



明翠旅館 [B-4]

TEL.0264-52-2036  
●定員/10  
●部屋数/3  
●営業期間/  
1月2日～12月30日



田政旅館 [B-5]

TEL.0264-52-2053  
●定員/50  
●部屋数/12  
●営業期間/  
1月4日～12月30日



旅館 雪沢鉱泉 [C-3]

TEL.0264-52-3287  
●定員/10  
●部屋数/4  
●営業期間/  
1～3月頃まで冬期営業  
上記水道凍結時は休業



信州木曽御膳 1,080円

坂下家料理店  
上松町駅前通り2-36  
TEL.0264-52-2059  
●休日/月曜定休(年末年始を除く)  
●期間/通年  
●受入数/20～300まで



敬神キャンプ場 [C-6]

TEL.0264-52-2547  
●定員/30  
●テント/50  
●営業期間/通年 要予約



## 上松 旅の宿

宿泊料(日安)/1泊2食・1名当たり

民宿:8,000円～ 旅館:10,000円～

位置図:折込マップ「上松町の観光ガイド」参照



民宿 去来荘 [D-2]

TEL.0264-52-2602  
●定員/30  
●部屋数/7  
●営業期間/  
赤沢開園期間中



木曾殿山荘 [E-6]

TEL.0573-72-4380  
●定員/80  
●営業期間/  
7月1日～10月上旬  
●090-5638-8193



民宿 さわぐち [C-3]

TEL.0264-52-3422  
●定員/50  
●部屋数/13  
●営業期間/通年



駒ヶ岳頂上木曾小屋 [C-7]

TEL.0264-52-3882  
●定員/100  
●営業期間/  
GW・6月中旬～11月3日



民宿 西小川 [C-4]

TEL.0264-52-4009  
●定員/18  
●部屋数/6  
●営業期間/通年



玉乃庵山荘 [C-7]

TEL.0264-52-2682  
●定員/100  
●営業期間/  
7月1日～10月体育の日  
(9月・10月は土日・連休のみ)  
●090-4181-8573



赤沢遊歩弁当暮の内 864円

上松町特産品開発センター  
上松町大字小川13428  
TEL.0264-52-1505  
●休日/なし●期間/通年  
●受入数/20～200



寝覚旅情 1,080円

ねざめホテル  
上松町大字上松1888  
TEL.0264-52-2245  
●休日/なし●期間/通年  
●受入数/20～200



山幸おこわ弁当 1,080円

栄家  
上松町栄町2-36  
TEL.0264-52-2252  
●休日/不定休●期間/通年  
●受入数/20～100

ご注文は、各店5個から承ります。  
発注は5日前までにお願いいたします。  
お弁当の詳しいお問い合わせは、  
直接各店へお電話ください。季節に  
より内容が変わら場合ございます。

## 上松宿のお弁当